



かがしま国体を目指す

～全国・世界レベルで活躍する鹿屋のアスリート～



にしおのこうだい
面小野 皓大 さん
(寿5丁目・14歳)

面小野さんは世界レベルの水泳選手。9月にウズベキスタン共和国で開催された「第9回アジアエージグループ選手権」で、金メダル4個・銀メダル2個を獲得。「世界で戦って結果を出せたことは、貴重な経験になった。今回の経験を生かし、練習をさらに積み重ねて、かがしま国体はもちろん、東京オリンピックへの出場を目指す」と、自信に満ちた表情で力強く話しました。



やました けいのすけ
山下 敬之輔 さん
(花岡町・82歳)

山下さんは、日本スポーツ吹矢協会5段の腕前。7月の記録大会では28m先の的に矢を当てることに成功、同協会公認の日本記録として正式に登録されました。「スポーツ吹矢は体も心も健康になれる。そして今回の日本記録は喜びでもあり、自信にもなる。鹿屋には約100人の競技者がいるが、かがしま国体に向けて、自分も出場を目指すのはもちろん、競技人口も増やしたい」と話しました。



▲9月1日に市役所を訪問した、全国障害者スポーツ大会に出場する選手

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手がスポーツの楽しさを体験するとともに、障がいに対する理解と社会参加の推進を目的として開催される、国内最大の障がい者スポーツの祭典です。平成13年から、国体終了後に国体の会場と同じ施設を使って開催されています。平成32年10月、鹿児島県で第20回大会が開催され、鹿屋市ではバレーボールが、串良平和アリーナで開催されます。市内には、障がい者スポーツでも全国レベルの選手がいます。10月28日から愛媛県で開催される第17回大会に、園田久さん(投てき・左から2人目)、中崎星也さん(フライングゲイスク・左から4人目)、井上愛理さん(水泳・右から1人目)の3人が出場します。

アスリートの皆さんへ

県では、かがしま国体を契機に、県内外で活躍しているアスリートを将来的に地元で根付かせ、スポーツ活動を実践できる職場環境を整備するために、「ターン・Uターン」を希望するアスリートの県内就職を支援する目的で、無料職業紹介所である「国体アスリートバンク(チームかがしま)」を運営しています。ぜひご利用ください。

県教育庁保健体育課 ☎099-286-5326

INFORMATION

燃ゆる感動 かがしま国体

鹿屋で開催される競技

バレーボール

- ◎種目=6人制バレーボール
- ◎種別=成年女子
- ◎競技会場=串良平和アリーナ



昭和22年の第2回国体バレーボール中学校男子(現・少年男子)の部で鹿屋中学校(現・鹿屋高等学校)が優勝、戦後復興途上の鹿屋市民は大いに沸きました。

昭和47年の太陽国体バレーボールは男女とも鹿屋市で開催。同年のミュンヘンオリンピック金(男子)・銀(女子)メダリストも集結し、世界最高レベルとも言える熱戦が繰り広げられました。

ボート

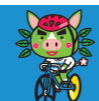
- ◎種目=舵手つきフォア、舵手つきクドルブル、ダブルスカル、シングルスカル
- ◎種別=成年男子、成年女子、少年男子、少年女子
- ◎競技会場=輝北ダム特設ボートコース



昭和47年の太陽国体ボート競技は、整備されたばかりの大隅湖で開催。太陽国体で県勢最初の優勝を飾り、「天皇杯・皇后杯」(全ての正式競技の総合成績を男女別・都道府県ごとに合算、1位の都道府県に授与)獲得への足がかりとなりました。

自転車

- ◎種目=ロードレース
- ◎種別=成年男子、少年男子、女子
- ◎競技会場=大隅広域ロードレースコース



地域密着型プロ自転車チーム「Ciel Bleu 鹿屋」や全国レベルの「鹿屋体育大学自転車競技部」の存在、自転車関連大会の開催など、鹿屋市は「自転車のまち」を目指した取り組みを進めています。

平成32年のかごしま国体自転車競技ロードレースは鹿屋市、肝付町、錦江町、南大隅町にまたがる広域ロードレースコースで開催されます。

スポーツ吹矢

- ◎競技会場=串良平和アリーナ



腹式呼吸をベースにした「スポーツ吹矢式呼吸法」は、手軽に取り組める健康法として、医師なども推薦しています。

全国的な統括団体による段位制度や記録認定制度など、競技スポーツとしても普及が進んでおり、市内での競技人口も増えつつあります。

全国障害者スポーツ大会

全国障害者スポーツ大会は、障がいのある選手がスポーツの楽しさを体験するとともに、障がいに対する理解と社会参加の推進を目的として開催される、国内最大の障がい者スポーツの祭典です。平成13年から、国体終了後に国体の会場と同じ施設を使って開催されています。平成32年10月、鹿児島県で第20回大会が開催され、鹿屋市ではバレーボールが、串良平和アリーナで開催されます。市内には、障がい者スポーツでも全国レベルの選手がいます。10月28日から愛媛県で開催される第17回大会に、園田久さん(投てき・左から2人目)、中崎星也さん(フライングゲイスク・左から4人目)、井上愛理さん(水泳・右から1人目)の3人が出場します。



①「太陽国体」開催を控えた昭和46年7月、旧市役所前に設置された日付塔。日付は「夏季大会まであと437にち」と表示され、塔には、鹿屋市で開催されたバレーボールとボートがデザインされている。



②「燃ゆる感動かがしま国体鹿屋市実行委員会」には、市内外の各種団体代表者等128人が参加。「太陽国体」開催から約半世紀の時を経て、再び鹿屋で国体が開催される。

国体開催に向けて

～鹿屋市実行委員会が発足～



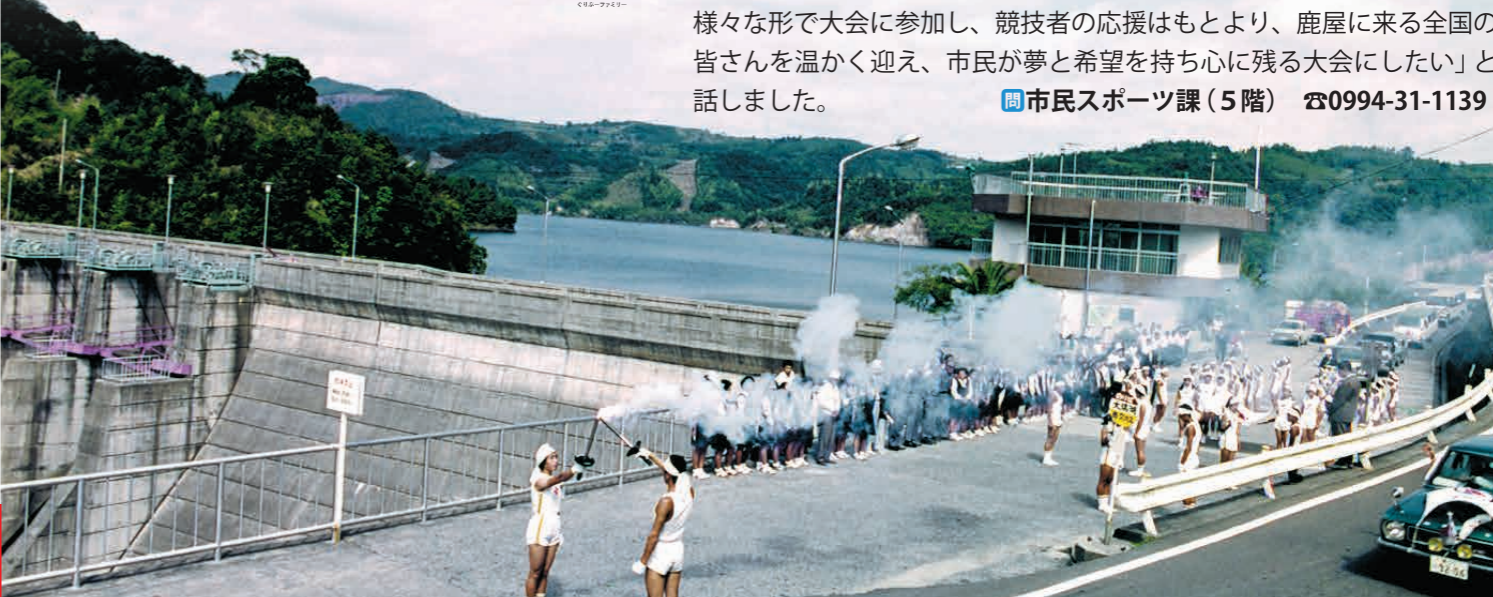
国内最大のスポーツの祭典、国民体育大会(以下「国体」)が、平成32年10月3日(土)から、48年ぶりに県下一円で開催されます。

国体は、市民のスポーツへの関心を高め、更なるスポーツ活動の普及・発展を大きく強化し、交流人口の増加が図られ、地域の活性化につながるものです。

鹿屋市では、正式競技として、ボート、バレーボール(成年女子)、自転車(ロードレース・鹿屋市を含む大隅地域での開催)の3種目と、デモンストラレーションスポーツとしてスポーツ吹矢の合計4種目が開催されます。

8月23日、「燃ゆる感動かがしま国体鹿屋市実行委員会設立総会・第1回総会」が開催され、市民・関係団体・行政からなる本格的な準備体制が発足しました。総会にあたり、実行委員会会長の中西市長は、「全市民が様々な形で大会に参加し、競技者の応援はもとより、鹿屋に来る全国の皆さんを温かく迎え、市民が夢と希望を持ち心に残る大会にしたい」と話しました。

問 市民スポーツ課(5階) ☎0994-31-1139



昭和47年の「太陽国体」ボート会場の
大隅湖畔で行われた炬火リレーの様子